

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ及び地方創生拠点整備タイプ)・認定中の地域再生計画 検証結果(令和6年度分)

	交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
				指標名	単位	目標値	実績値		
<b>デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)</b>									
1	天草市デジタルアートの島創造事業(2年目)	<p>◆目的 ・若者の地元就職率アップ及びUIJターン促進の環境整備に向けて、若者に魅力的な雇用の場や職業の選択肢を増やすことが必要である。そこで、天草にないゲーム・アニメ制作等のデジタルコンテンツ産業の創出を目指し、若者や女性の流出抑制やUIJターン促進及び定住促進を図り、持続可能な地域を創造する。</p> <p>◆内容 ・ゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ制作会社の誘致 ・ゲーム・アニメ等クリエイター育成、事業の普及啓発(天草工業高校情報技術科CG系列、小中学生、一般) ・デジタルコンテンツ産業人材獲得支援 ・(一社)デジタルアート天草の運営</p>	45,129千円 うち交付金充当額 9,878千円	コンテンツ産業の市内の雇用者数 コンテンツ産業の進出企業数 クリエイター育成講座への参加者数	人 社 人	5 1 30	5 1 52	<p>以下の取り組みを発展させることで、天草と言えば「デジタルコンテンツ文化が育まれる街だ」という認識(天草発のデジタルコンテンツ文化)を確立させ、クリエイターや企業が憧れを持って目指し、変化の兆しを感じる豊かな街を創造する。</p> <p>《デジタルコンテンツ制作関連企業の誘致について》 ・新規の誘致プロモーションを進めつつも、既進出企業の雇用マッチングなどの定着フォローを強化する ・ゲームや映像系の企業だけではなく、アニメ系の企業の誘致を進めることで職業の幅を広げる 《クリエイター育成事業について》 ・天草工業高校CG系列の教育レベル向上、PR強化による入学者の増加を図る ・R6年度好評だった中学生CG教室の拡大や、小中学生・一般向けの講座や普及イベントを実施し、デジタルアート人材の裾野を広げる ・R6年度に開設したデジタルハリウッドSTUDIO天草での学びを促進し、クリエイターの総数増加を図る。 《クリエイターの誘致について》 ・業界誌等との連携による広告、イベント等の誘致プロモーションを強化する。 ・連携高等教育機関とイベントやコンテストを通じて連携を強化し、人材の獲得に繋げる。 《一般社団法人デジタルアート天草の運営について》 ・自立化に向け、自主財源の確保と人材体制の整備を行う。 ・デジタルアートの島創造事業の認知度拡大のためにSNSでの情報発信を強化する 《天草発のデジタルコンテンツ文化の発信について》 ・天草を題材としたゲームやアニメ等の制作誘致や制作支援を行う。 ・市民が身近にデジタルアートを体感できる機会(芸術祭等)を増加させ普及啓発に繋げる。</p>	<p>◆「効果的であった」 ・地元の若者達が働く場として繋がっていくと、大いに期待できる事業と思われます。色々なコンテンツの中に、天草ならではの風景や風習などがどこかに少しでも織り込むことなどができるから、独自のおもしろい物ができるのではないかと思われます。 ・今後のイベントの定着化や広域連携ができるといいいと思います。今後が楽しみです。 ・天草独自のデジタルコンテンツ産業の創出を更に進めていただき、今後も進出企業や雇用の増加を期待しています。 ・本事業は引き続き、順調に進捗しているものと認識しています。今後の方針において示されている通り、主な5つの事業を確実に推し進めることにより、将来天草になくてはならない産業として定着するものと期待します。 ・小中学生向けの普及イベントのさらなる実施を願います。 ・教育事業なので引き続きの効果測定が大切かと考えます。</p>
2	林業6次産業化推進事業(2年目)	<p>◆目的 市内における林業の6次産業化を後押しし、天草産木材等の地産地消を促進とともに、持続可能な森林経営の推進、林業関連事業者の経営の安定化・効率化により、林業の活性化を図る。</p> <p>◆内容 林業6次産業化推進に向けた検討業務 ・地域商社設立準備 ・市有林の活用方法検討業務 ・農・水産業との連携検討事業 ・森林信託実現可能性調査</p>	26,137千円 うち交付金充当額 13,061千円	本交付金事業実施に伴う新規施業対象山林面積 地域の森林資源を活用した教育・木育プログラムへの参加人数 本交付金事業実施に伴う新規林業就業者数(副業含む) 本交付金事業実施に伴う市産材の搬出量	ha 人 人 m <sup>3</sup>	50 10 3 200	0 22 2 15	<p>調査や実証により、本市の森林の状況や未利用資源等多くの課題などが判明した。今後それらの課題解決のために、中核を担う地域商社の設立や林業6次産業化実現に必要な準備を行う。</p> <p>具体的には、引き続き森林資源の流通状況の調査や広葉樹の安定流通のために、中間土場の設置や運営方法などを検討。また市有林の活用方法の一つとして森林信託等新たな手法で活用することも検討する。</p>	<p>◆「効果的であった」 ・後継者不足の問題なども含め、天草の大切な資源が有効活用できるよう今後も継続して取り組んでいただきたい。 ・林業に関する商品開発は成果がでていると思います。一方で雇用の創出については対策が必要かと思いました。 ・指標の目標に対して実績の値を見る限り効果があったように思えませんが、重要な産業なので、調査結果をもとに今後の活用に期待します。 ・KPI①目標値についてR6年度目標値50haに対し実績値が0?とは、指標④についても目標値200?に対し15?はどうしてか、とても少ない様に感じます。その理由をお聞きしたい。 ・本事業の中核となる地域商社の設立を早急に進めるとともに、市民に対する認知度を高める施策の充実を図ることで6次産業化の促進に繋がるものと思います。 ・情報整理に時間を要し、まだ効果があったとは言い切れない。事業計画策定段階での今後の対策が必要。事業資金の支出の進捗と事業進捗の比較検討も必要かと考える。 ・森林簿の情報整理に時間を要し施業まで至っていないことであり、早急な課題解決が必須であると感じる。</p>

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ及び地方創生拠点整備タイプ)・認定中の地域再生計画 検証結果(令和6年度分)

	交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
				指標名	単位	目標値	実績値		
3	天草市ブルーカーボン推進事業(1年目)	<p>◆目的 本市では、漁業就業者数の減少や磯焼け等による藻場面積の減少、漁獲量の減少等の過大があり、藻場の造成や漁業者創意による海藻の増・養殖の実証、植食魚類等の駆除時検討を行い、藻場の保全等の取組を行うことで、持続的な漁業生産に繋げ、漁業経営の安定化を図る。</p> <p>◆内容 藻場造成による良質な漁場の再生と水産資源の利活用による魅力的な地域づくりを目指す。また、今後の藻場造成・保全活動の展開・方向性について検討する。</p> <p>(1)ブルーカーボン創出事業 計画の策定・調査、クレジットの申請・認証に向けた取組</p> <p>(2)海藻増・養殖試験実証実験 養殖技術の確立に向けた取組</p> <p>(3)有害生物駆除実証事業 実態調査等</p>	17,756千円 うち交付金充当額 5,991千円	本交付金事業実施に伴う農林水産就労者数 本交付金事業実施に伴う新規の藻場造成面積 本交付金事業実施に伴う新規の海藻増・養殖実施団体 本交付金事業実施に伴う有害駆除実施団体	人 ha 団体 団体	5 1 0 2	12 1 0 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの藻場再生・造成活動の拡大(小学生とのアマモ場造成活動等)とともに、Jブルークレジット申請・認証に漁業者が自ら取り組む調査方法等の検証を行う。</li> <li>海藻増・養殖試験実証実験については、昨年度の実験を継続して実施していくことで、海藻増・養殖の栽培技術の確立を目指す。</li> <li>有害生物駆除実証実験については、これまでの駆除を実施している地先(2地先)での実験を継続するとともに、新たに1地先についても有害生物(イズミ)の生態調査等を漁業者とともに取り組んでいく。</li> </ul>	<p>◆「効果的であった」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林業と共に水産業も天草にとって、とても大切な産業であるが、効果が見えにくく一般市民にはわかりにくいように思います。正直関係していなければ知らないままだったかもしれません。</li> <li>環境・教育・地域漁業を巻きこんだ活動は素晴らしいと思います。</li> <li>藻場面積拡張に向けて今後の飛躍に期待できると考える。</li> <li>天草の基幹産業である漁業の持続的発展に欠かせない事業であると認識しています。</li> <li>今後の方針を確実に実行するうえで、関係機関との連携強化がより重要であると思います。</li> </ul>

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)

4	天草市スポーツコミッショセンター(仮称)整備事業(緑越)	<p>◆目的 天草市スポーツ拠点施設整備基本計画に基づき、市民一人ひとりが日常的にスポーツへの関心を高め、健康づくりや競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた新たな交流を創出する。</p> <p>◆内容 【天草市スポーツコミッショセンター(仮称)新築】 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 延床面積 2,448.81m<sup>2</sup> 施設概要 ・会議室兼審判室、トレーニング室、ラウンジ、多目的室、男女更衣室、事務室、2階観覧席(一般539席、車いす用14席)、エレベーター設置、倉庫、トイレ等</p>	0千円 うち交付金充当額 0千円	スポーツコミッショセンターの利用者数(陸上競技場合む) 大会・合宿誘致件数	人 件	52,500 28	60,691 26	スポーツコミッショセンターの取り組みは昨年より成果が上がってきている。今後も市民の健康増進や競技力向上を図る取り組み、大会や合宿の誘致を更に進め、交流人口の増大を図り地域活性化を目指す。	<p>◆「効果的であった」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大会等の誘致や利用者増に繋がっているよう活発な利用が行われていると思われます。ただ「スポーツコミッショセンター」という名称の認知は薄いのでは?大きな大会等も必要だが、市民が利用しやすいスポーツプログラムなどが増えればもっと利用し易くなると思います。</li> <li>更なる発展に期待。</li> <li>スポーツコミッショセンターの取り組みは毎年成果が上がっているようですね。今後更なる大会誘致・合宿等の誘致増加を期待しています。</li> <li>あましんスタジアムを中心としたスポーツによる交流人口は大幅に増加しています。特にスポーツコミッショセンターを通じた大会・合宿誘致等による地域への経済効果は大きく今後更に地域活性化に貢献するものと期待しています。</li> <li>今後も地域住民の利便性を確保しながら、関係人口の創出のための核となる施設であり続けて欲しい。</li> </ul>
---	------------------------------	---	------------------------	--	--------	--------------	--------------	---	---

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ及び地方創生拠点整備タイプ)・認定中の地域再生計画 検証結果(令和6年度分)

	交付対象事業の名称 地域再生計画の名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評
				指標名	単位	目標値	実績値		
<b>認定中の地域再生計画</b>									
5	天草市まち・ひと・しごと創生推進計画(企業版ふるさと納税関係)(5年目)	<p>◆目的・内容 天草市人口ビジョンで展望した人口減少に伴う課題を解決するために、天草市第2期総合戦略に掲げた4つの基本目標を達成するため、企業版ふるさと納税を活用するもの。</p>	<p>寄附受領額 24,300千円</p> <p>【充当事業】 ブルーカーボン推進事業 5,100千円 通詞島沖イルカ環境実態調査事業 1,700千円 水産資源回復・基盤整備事業 2,500千円 資源管理推進事業 2,500千円 新規就漁者支援事業 2,500千円 天草未来人材育成・就職促進事業 2,600千円 世界遺産保全活用事業 200千円 スポーツコミュニケーション推進事業 2,200千円 御所浦地域振興事業 4,000千円 地域脱炭素移行・再エネ推進事業 800千円 交通安全対策事業 100千円 特別保育事業 100千円</p>	<p>若い世代の転出超過 (累計)</p> <p>就業人口数の確保</p> <p>都市部から本市への転入(累計)</p> <p>25～44歳女性の就業率</p> <p>子育てしやすい地域と感じる市民の割合</p> <p>健康に暮らしていると感じる市民の割合</p> <p>安心して暮らしていると感じる市民の割合</p>	<p>人</p> <p>人</p> <p>人</p> <p>%</p> <p>%</p> <p>%</p> <p>%</p>	<p>1,172</p> <p>29,346</p> <p>400</p> <p>86.0</p> <p>69.5</p> <p>87.5</p> <p>93.0</p>	<p>2,212 (参考値)</p> <p>35,076 (参考値)</p> <p>878</p> <p>83.7</p> <p>50.4</p> <p>82.1</p> <p>83.1 (※集計方法の変更により参考値)</p>	<p>これまで、企業版ふるさと納税のパンフレットの作成し、関係する事業者や都市部のふるさと会で配布する取組や、一定額以上の寄附に対する感謝状贈呈式の開催など、寄附事業者の拡大に努めてきた。 また、自治体が営業活動を行う余力や民間企業との繋がりが無いため、令和4年度から都市部の企業との繋がりのある金融機関にコンサルティング業務を委託して寄附金の獲得を目指し、これまで前年度を上回る寄附金を獲得してきた。 今後も充当する事業の内容等の充実を図りながら金融機関とも連携し、寄附の獲得を目指していく。</p>	<p>◆「効果的であった」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も大いに期待できる事業であると思います。更に安心して天草に住み続けていけるために、企業の誘致などによって雇用へと繋がり、住みやすい・働きやすい・暖かなまちづくりが行われていくことを願っています。</li> <li>順調に増加しているのは素晴らしい、安定的な財源確保になっていると思います。寄付活用の状況発信など共感を得られる仕組みがあるといいと思います。</li> <li>前年度を上回る寄付額を繰り返し達成することに期待。</li> <li>市の財源である寄付金が増加している点はとても評価できる事です。しかしKPIの指標⑤から⑦について事業開始前の数値から減少している点が気になります。</li> <li>寄附された資金がどのように地域に貢献しているかを明確にして、寄附された企業にお礼も兼ねて報告することにより、その企業との繋がりが継続し、新たなるふるさと納税に加え、人的交流等次の連携に発展することが期待できます。</li> </ul>